

■9月19日 (日) 午前

会場	① (C11)	② (C12)	③ (C13)	④ (C21)
		(トピック) 河口～内湾域 環境変動	(シンポ) 南海トラフ沈み込み帯	(シンポ) 故藤田和夫追悼 アジアの山地形成論
		座長：野村律夫 (35-38), 秋元和實 (39-42), 瀬戸浩二 (43-45)	座長：金川久一 (25-28)・氏家恒太郎 (29-33)	座長：酒井治孝 (34-38), 竹村恵二 (39-42)
9:00		9:00 O-35 (招待) 樹木年輪による気候復元. 米延仁志・大山幹成・星野安治	9:00 あいさつ. 橋本善孝・氏家恒太郎	9:00 はじめに. 世話人
		9:15 O-36 能取湖の環境変化. 齊藤 誠・瀬戸浩二・高田裕行・香月興太・園田 武・川尻敏文・渡部貴聰	9:05 S-25 (招待) 西南日本下の断裂したフィリピン海プレート. 井出 哲・汐見勝彦・望月公廣・利根川貴志・木村学	9:05 S-34 西南日本の山地と盆地形成. 竹村恵二
		9:30 O-37 北海道道東海跡湖群の古生態変遷. 香月興太・瀬戸浩二・齊藤 誠・園田 武	9:25 S-26 New subduction. 木村 学	9:22 S-35 新潟 - 神戸歪集中帯のネオテクトニクス. 竹内章
		9:45 O-38 オホーツク海沿岸汽水湖群における近年の環境変遷. 瀬戸浩二・高田裕行・齋藤 誠・香月興太・園田 武・川尻敏文・渡部貴聰	9:40 S-27 沈み込み帯深部及び浅部におけるすべり過程のモデル化. 芝崎文一郎・伊藤喜宏	9:39 S-36 北アルプスの上昇テクトニクス. 原山 智
		10:00 O-39 青森県小川原湖における完新世古環境変動の高精度復元. 山田和芳・篠塚良嗣・吉田明弘・米延仁志・五反田克也・原口強・星野安治・稲垣哲也・奥野充・大山幹成・Tyler Jonathan・Turunen Saija・Saarinen Timo・林田 明・安田喜憲	10:00 S-28 巨大分岐断層の高速せん断摩擦特性と微細構造. 氏家恒太郎・堤 昭人	9:56 S-37 (招待) 山地と盆地形成のモデリング. 楠本成寿
		10:15 O-40 気候変動に対する汽水生底生有孔虫群の応答. 高田裕行・瀬戸浩二・田中里志・坂井三郎	10:15 S-29 (招待) 南海掘削におけるコア-ログ-サイズミック統合解析. 真田佳典・キョー スーモ-・木戸ゆかり	10:13 S-38 地殻構造探査探査から見た近畿地方三角帯の水平短縮と長波長変形. 佐藤比呂志・石山達也・加藤直子・阿部 進
		10:30 O-41 尼崎西宮芦屋港内における過去約100年間の有孔虫群集変化. 辻本 彰・上月雅代・吉川周作・山崎秀夫	10:35 S-30 付加体のP波およびS波速度と堆積物組織. 橋本善孝・マツクヌス・ハロルドトビン・原田章伸	10:40 S-39 東南アジアの活構造と地震テクトニクス. 堤 浩之
		10:45 O-42 人為的改変が進行した沿岸域における珪藻群集の動態. 廣瀬孝太郎・瀬戸浩二	10:50 S-31 南海トラフへ沈み込む四国海盆玄武岩と火山砕屑岩類. 齋藤実篤・成瀬 元・小田啓邦・中嶋健・佐藤 暢・石塚 治・山口飛鳥・亀田 純・新正裕尚・久保雄介・アンダーウッド マイク・IODP第322次研究航海乗船研究者	10:57 S-40 チベット高原の上昇と活断層・地震テクトニクスについて. 林 愛明
		11:00 O-43 汽水域における過去半世紀の有孔虫群集の変化. 野村律夫・中村光作・辻本 彰・河野重範・高田裕行	11:05 S-32 中新世における四国海盆の半遠洋性泥堆積速度. 成瀬 元・Pickering Kevin T.・Scudder Rachel・Kutterolf Steffen・Labanieh Shasa・Wu Huaichun・小田啓邦・Zhao Xixi・千代延 俊・Govil Pawan・中嶋 健・Underwood Michael B.・齋藤実篤・久保雄介・IODP Exp. 322 Shipboard Scientific Party	11:14 S-42 (招待) ヒマラヤ・チベットの地物観測と数値モデル. 高田陽一郎 総合討論
		11:15 O-44 中世松江平野の古環境. 渡辺正巳・瀬戸浩二・石川 崇・落合昭久	11:20 S-33 南海トラフ沈み込み帯と三浦・房総半島の付加体・被覆層システム. 山本由弦・齋藤実篤・金松敏也・北村有迅・千代延 俊・亀田 純	
		11:30 O-45 音響機器およびAUVによるナメクジウオ生息域の環境調査. 秋元和實・竹内俊英・柴田耕治・島崎英行・逸見泰久	11:35 総合討論	

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通り番号がついています.  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています. 正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください.

■9月19日 (日) 午前

会場	⑤ (C22)	
	(シンポ) ガスハイドレート	
	座長：佐藤幹夫 (15-19), 町山栄章 (20-24)	
9:00	9:00	S-15 上越沖のガスハイドレート. 松本 良
	9:20	S-16 (招待) 上越沖ガスハイドレート胚胎域のポックマークとハイドレート. 弘松峰男・松本 良
	9:40	S-17 (招待) AUVによるガスハイドレート観察. 浦 環・中谷武志・松本 良およびYK10-08乗船研究者
	10:00	S-18 (招待) 日本周辺メタンハイドレート分布状況と佐渡南西沖賦存層解釈. 佐伯龍男・島田忠明・古川稔子・林 雅雄
	10:20	S-19 上越海盆西部メタンハイドレート分布域の熱流量稠密観測. 川田佳史・築瀬裕彰・町山栄章・木下正高・弘松峰男・松本 良
	10:40	S-20 上越沖ガスハイドレートの間隙水地球化学. 戸丸仁
	11:00	S-21 (招待) メタンのシンク/ソースとしての微生物活動の役割. 柳川勝紀・砂村倫成
	11:15	S-22 日本海最上部第四系の珪藻化石層序と黒色粒子の多産出. 秋葉文雄・谷村好洋・松本 良
	11:30	S-23 (招待) 有機物組成とメタン湧水. フェルナンド・フレリ・松本 良・須貝俊彦
	11:45	S-24 計量魚群探知機によるメタンブルームの観測とメタンフラックス. 青山千春

⑥ (D21)	
(シンポ) 島弧地殻で発生するメルト	
座長：岡本和明 (51-52), 寺林 優 (53-55), 小林記之 (56)	
9:00	シンポジウム趣旨説明
9:05	S-51 (招待) 東日本下の太平洋スラブ内の上面地震帯と地震波速度構造の特徴. 北佐枝子・岡田知己・中島淳一・松澤 暢・長谷川 昭・辻 優介
9:30	S-52 (招待) 蛇紋岩化したマントルの地震学的イメージ. 渡辺了
10:00	総合討論 I (沈み込み帯深部流体)
10:10	休憩
10:20	S-53 (招待) 地震波トモグラフィから見た内陸地震と地殻流体の関り. 岡田知己
10:50	S-54 (招待) 肥後変成帯における高度変成岩類の部分溶融とメルト生成. 小林記之・加藤睦実・柴田知之・小畑正明
11:10	S-55 (招待) メルトからの流体分離による地震. 岡本和明・土屋智彦
11:30	S-56 (招待) 低圧型変成帯に残された地震発生場の化石. 寺林優・山本啓司
11:45	総合討論 II (地殻流体と内陸地震)

■MEMO■

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月19日 (日) 午後

会場	① (C11)
	(定番) 地域間層序対比と年代層序 座長：岡田 誠 (84-85), 里口保文 (86-88)
14:00	14:00 O-84 テフラ対比からみた古琵琶湖層群高島層の年代. 里口保文・服部 昇・石田志朗・平尾藤雄・三矢信昭・佐藤ふみ 14:15 O-85 飛騨高山盆地に分布する大規模火砕流堆積物と広域テフラ. 田村糸子・山崎晴雄・水野清秀 14:30 O-86 南房総千倉層群の酸素同位体層序. 岡田 誠・所佳実・松田 瞳・内田剛行 14:45 O-87 蝦夷層群における千年規模の解像度で求めた炭素同位体比変動. 富永嘉人・長谷川 卓・利光誠一 15:00 O-88 中国雲南省王家湾セクションにおける下部カンブリア系の詳細層序. 日達宇彦・磯崎行雄・可児智美
	(定番) 地域地質・地域層序 座長：吉川敏之 (64-66), 佐野弘好 (67-69), 中江 訓 (70-72)
	15:15 O-64 Deadman Bay terraneのトリアス紀海山崩壊堆積物. 山縣 毅 15:30 O-65 中央ネパール, ジョムソン・マナン地域の下部三畳系の広域対比. 吉田孝紀・大友和夫・川村寿郎・鈴木茂之・Dhital Megh Raji 15:45 O-66 新第三系対州層群の堆積環境. 二宮 崇・谷口翔・下山正一・宮田雄一郎・ダンクレイダニエル・松田博貴・山中寿朗・青木隆弘・西田民雄・市原季彦 16:00 O-67 御荷鉾緑色岩類の地質構造. 村田明広・前川寛和 16:15 O-68 秩父南帯のジュラ紀-白亜紀前期付加コンプレックスと被覆層. 石田啓祐・香西 武・ヒルシュ フランシス 16:30 O-69 下部白亜系稲倉層の層序と堆積環境. 岡山県南西部. 橋 徹・鈴木茂之 16:45 O-70 紀伊半島西部, 中央構造線断層破砕帯から産出した花粉・胞子化石. 松本孝之・政岡邦夫・興津昌宏 17:00 O-71 美濃帯ジュラ紀メラングジュに産する珪質石灰岩の岩相と年代. 高野敦史・佐野弘好・小嶋 智・尾上哲治 17:15 O-72 舟伏山地域のベルム紀・三畳紀境界珪質岩. 佐野弘好・桑原希世子・八尾 昭・上松佐知子

	② (C12)
	(定番) 環境地質 座長：川辺孝幸 (225-228), 田村嘉之 (229-232), 吉田 剛 (233-236)
	14:00 O-225 前進する海岸での砂丘上に見られた液状化-流動化現象. 風岡 修・佐藤光男・吉田 剛・古野邦雄・楠田 隆・香川 淳・酒井 豊・原雄・香村一夫・佐藤賢司・楡井 久 14:15 O-226 地盤沈下観測井による上ガス連続観測. 香川淳・古野邦雄・吉田 剛・山本真理 14:30 O-227 北総台地における常総粘土層の深度分布に関する研究. 加藤晶子・風岡 修・楠田 隆・酒井 豊 14:45 O-228 観測井孔内地下水の深度方向の温度分布. 古野邦雄・香川 淳・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・加藤晶子・酒井 豊・山本真理 15:00 O-229 富士山の地下水と富士五湖の水の起源. 興水達司・戸村健児・尾形正岐・小林 浩・内山 高・石原 諭 15:15 O-230 市民・博物館・大学の連携による淀川水系の水質環境調査. 中条武司・中口 謙・益田晴恵・里口保文・淀川水系調査グループ「プロジェクトY」水質班・琵琶湖博物館「水はしかけ」 15:30 O-231 河川改修と地下水流動変化. 楠田 隆・吉田剛・古野邦雄・香川 淳・風岡 修・加藤晶子・酒井 豊・山本真理 15:45 O-232 レアメタル元素および有害元素の地球化学的挙動に関する基礎研究. 梶原雅博・小川泰正・土屋範芳 16:00 O-233 岐阜県神岡鉱山からの重金属流出. 坂巻幸雄・小林武彦・石川孝義 16:15 O-234 土壤汚染対策法指定調査機関による汚染調査の問題事例. 酒井 豊・楠田 隆・風岡 修・古野邦雄・香川 淳・吉田 剛・加藤晶子・山本真理 16:30 O-235 地質調査のあるべき方向. 上砂正一 16:45 O-236 神栖市旧日本軍毒ガス弾原料のDegradation Products. 楡井 久・楡山知代・池田秀史・高島英世

	③ (C13)
	(定番) 付加体 座長：山口飛鳥 (139-140), 内野隆之 (141-143)
	14:00 O-139 蒲原山地の付加体構造と足尾帯テクトニクス. 内野隆之 14:15 O-140 紀伊半島四万十付加体新时期屈曲構造. 中屋志津男・紀州四万十帯団体研究グループ 14:30 O-141 四万十付加体の多様性. 鈴木博之・紀州四万十帯団体研究グループ 14:45 O-142 沈み込む玄武岩の変質履歴. 山口飛鳥・亀田純・北村有迅・斎藤実篤・木村 学・Underwood Mike・久保雄介・IODP第322次航海乗船研究者一同 15:00 O-143 付加体を構成する泥質物質の高速摩擦特性. 堤昭人・氏家恒太郎
	(定番) テクトニクス 座長：加藤直子 (144-147), 藤内智士 (148-151)
	15:30 O-144 地震に関連した地下水変動観測結果. 大槻憲二郎・鹿島雄介・南須原美恵・中村隆志・山内常生 15:45 O-145 基盤岩中の断層破砕帯における元素の移動による活動性評価の試み. 大谷具幸・香名亮輔・小嶋智・大橋聖和・各務和彦 16:00 O-146 地中レーダ・地層分布不連続解析による伏在活断層評価. 宮田隆夫・柳澤達彦 16:15 O-147 綾瀬川断層におけるS波反射法地震探査及び地中レーダ探査. 木村治夫・堀川晴央・末廣匡基・秋永康彦・安藤亮輔 16:30 O-148 2008年岩手・宮城内陸地震の地質構造規制. 越谷信・佐藤比呂志・加藤直子・綿引美美子・蔵下英司・阿部 進・白石和也・東中基倫 16:45 O-149 深部反射法地震探査による佐渡海盆西部-佐渡地域の地殻構造. 加藤直子・佐藤比呂志・石山達也・蔵下英司・越谷 信・吉田武義・豊島剛志・石川正弘・戸田 茂・斎藤秀雄・阿部 進・小平秀一・高橋成実・佐藤 壮 17:00 O-150 2009年相模トラフ横断地殻構造探査. 佐藤比呂志・岩崎貴哉・阿部 進・石山達也・平田 直 17:15 O-151 中部日本深部地殻構造. 伊藤谷生ほか34名

	④ (C21)
	(定番) 変成岩とテクトニクス 座長：宮本知治 (194-197), 河上哲生 (198-201), 片山郁夫 (202-205)
	14:00 O-194 セールロンダーネ山地の炭酸塩岩の炭素, 酸素同位体組成. 土屋範芳・サティシユ クマール・河上哲生・石川正弘 14:15 O-195 東南極セール・ロンダーネ山地に産するAl <sub>2</sub> SiO <sub>5</sub> 鉱物. 河上哲生・石川正弘・サティシユ クマール・土屋範芳・吉田健太 14:30 O-196 南極セール・ロンダーネ山地, 小指尾根のhogbomite . 志村俊昭・赤井純治・亀井淳志・東田和弘・大和田正明・柚原雅樹 14:45 O-197 超高温グラニュライト中のナノ花崗岩類. 廣井美邦・柳 綾彦・加藤陸実・小林記之・ブレイムバーナード・外田智千・本吉洋一・白石和行 15:00 O-198 中国雲南省怒江地域に分布する特徴的な変成岩類. 米村和紘・小山内康人・中野伸彦・大和田正明・馬場壮太郎 15:15 O-199 飛騨・隠岐の泥質岩の地球化学. 加納 隆・山中智子・鐵原 渉 15:30 休憩 15:45 O-200 Zircon re-equilibration by fluids during metamorphism. Dunkley Daniel Joseph・Hiroi Yoshikuni・Suzuki Kazuhiro・Tani Kenichiro・Harlov Daniel 16:00 O-201 The Jurassic accretion of the Heilongjiang Complex, NE China. Li Weimin・Takasu Akira・Liu Yongjiang・Zhao Yingli 16:15 O-202 Sm-Nd and K-Ar ages of HP rocks from the Neldy F., Makbal, Togonbaeva Asel Altymyshovna・Takasu Akira・Kamei Atsushi・Shibata Tomoyuki・Tagiri Michio・Bakirov Azamat Almazbekovich・Bakirov Apas Bakirovich・Sakiev Kadyrbek Satybaldynovich 16:30 O-203 長崎変成岩類形成とマントルコーナー流. 宮崎一博・有馬和宏・池田 剛 16:45 O-204 変成帯の上昇過程の違い. 板谷徹丸・ヌン N.D. 17:00 O-205 三波川変成岩中に共存する異なる累帯構造のざくろ石. 榎並正樹

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています.  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています. 正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください.

■9月19日 (日) 午後

会場	⑤ (C22)
	<b>(定番) 砕屑物組成・組織と続成作用</b> 座長：太田 亨 (99)
14:00	
14:30	<b>O-99</b> 黒瀬川帯デボン系～ジュラ系砕屑岩層の後背地、 宮本隆実・桑水流淳二・早坂康隆
	<b>(定番) 炭酸塩岩の起源と地球環境</b> 座長：町山栄章 (100-102), 山田 努 (103-106), 佐々木圭一 (107-109)
14:45	<b>O-100</b> 湖南省北西部のDoushantuo層について、古山精史 朗・狩野彰宏
15:00	<b>O-101</b> 北中国山東省の中部カンブリア系で認められる 微生物岩、江崎洋一・劉 建波・足立奈津子・小谷 綾香
15:15	<b>O-102</b> 南部中国のCarbonoschwagerina. 上野勝美・早川 直樹・中澤努・王玥・王向東
15:30	<b>O-103</b> 秋吉石灰岩石炭系の腕足類密集層、比嘉啓一郎・ 秋山哲男
15:45	<b>O-104</b> 秋吉帯海洋島石灰岩にみられるGzhelian-Asselian の礁生物群集、中澤 努・上野勝美・藤川将之・ 川幡穂高
16:00	<b>O-105</b> 喜界島最高位段丘の水期サンゴ礁、佐々木圭一・ 稲垣美幸・大村明雄
16:15	<b>O-106</b> 琉球弧宮古曾根西縁に分布する石灰岩とその意 義、町山栄章・荒井晃作・松田博貴・井龍康文・ 千代延俊・佐々木圭一・ハンブレ マーク
16:30	<b>O-107</b> 初期淡水性続成作用に伴う炭酸塩鉱物の時間変 化、松田博貴・佐藤和也
16:45	<b>O-108</b> 鹿児島県安楽温泉のトラバーチン、奥村知世・高 島千鶴・狩野彰宏
17:00	<b>O-109</b> 石筍の同位体組成とその形成環境との関係、山田 努・富塚昌宏・松田博貴・吉村和久・菊地敏雄

	⑥ (D21)
	<b>(定番) 噴火と火山発達史</b> 座長：近藤 梓 (175-177), 長岡信治 (178-180)
14:00	<b>O-175</b> 九重火山、長岡信治・奥野 充
14:15	<b>O-176</b> 桜島火山の地質、小林哲夫
14:30	<b>O-177</b> Geochemical Variation in Papandayan Area. Abdurrachman Mirzam・Yamamoto Masatsugu
14:45	<b>O-178</b> 北海道の火山活動の時空変遷、中川光弘・小杉安 由美・長谷川 健・石井英一・石塚吉浩
15:00	<b>O-179</b> 碓ヶ関カルデラの層序とK-Ar年代、近藤 梓・山 元正継・大場 司・安井光大・緒方武幸
15:15	<b>O-180</b> オマーンオフィオライトのオフリッジ巨大溶岩、 海野 進

	⑦ (D22)
	<b>(トピック) 地学巡検・地学名所とガイドブック</b> 座長：天野一男・齊藤真 (22-27), 中井均・久田健一 郎 (28-34), 総合討論：吉田勝・天野一男・中井均
14:00	<b>O-22 (招待)</b> ジオパークにおけるガイドブック・ガイドマップ の重要性、渡辺真人
14:15	<b>O-23 (招待)</b> 地質百選、矢島道子
14:30	<b>O-24</b> 北九州周辺地域におけるジオパークの可能性、岡 本真琴
14:45	<b>O-25</b> 北海道の地質とジオサイト、新井田清信
15:00	<b>O-26</b> 千葉県におけるジオパーク活動、会田信行・古関 東深海盆ジオパーク推進協議会
15:15	<b>O-27</b> 地域地質情報を用いた商品開発・布製品の試作 -、 齋藤 真・森尻理恵・真坂淑恵・坂寄裕代・國本 節子・巖谷敏光
15:30	<b>O-28 (招待)</b> 地学オリンピックの新しい試みーグランプリ地球 にわくわくー、久田健一郎・瀧上 豊
15:45	<b>O-29 (招待)</b> 地団研埼玉支部の地ハイ、小幡喜一
16:00	<b>O-30</b> エネルギー環境教育のための都市型ジオツアー、 太田泰弘・金子二康・古賀久美子・野井英明
16:15	<b>O-31</b> ジオトレイルの環境教育への応用、野井英明・太 田泰弘・梅崎恵司
16:30	<b>O-32</b> Twitterを用いた新しいジオツアーの試み、齊藤 千帆・小峯慎司・伊藤太久・天野一男
16:45	<b>O-33</b> 地域の理解につなげる地質図の活用、松原典孝・ 先山 徹・天野一男・茨城大学地質情報活用プロ ジェクト
17:00	<b>O-34</b> 自然観察会「活断層を歩く」の企画と観察地図の 作成、川端清司・中条武司
17:15	総合討論

■MEMO■

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。